

幕あい

横浜演劇鑑賞協会

第331回観劇会

2025年10月29日



表紙絵・西・大谷 叶

第331回 観劇会 日穂公演

月の海



企画・脚本/岩瀬顕子 演出/たんじだいご 音楽・林ゆうき



あらすじ

仕事を辞め、結婚も諦め、実家で母の介護に専念する望月静。認知症が進行し、娘の存在さえ分からなくなった母を一人で介護することに限界を感じた静は、借家を明け渡すタイミングで老人ホームに入所させることを決意する。なんとか自宅で最後の時間を楽しんでもらいたいと願う静だが、母は5年前に行方不明になった弟・豊に会いたいと言って困らせる。そんなある日、死んだと思っていた豊が突然帰ってくる……。果たして彼は本当に豊なのか？

親の介護という身近なテーマを軸に「家族」や「いのち」を描く、笑いと涙の感動作が7年ぶりに帰ってくる！音楽は国内外で絶大な人気を誇る作曲家・林ゆうき氏による全編オリジナル！

日時／2025年10月29日(水)13時開演・18時30分開演

*昼公演終了後に出演者との客席交流会があります。どうぞご参加ください！

30日(木)13時開演

会場／関内ホール・小ホール

*担当者のみなさんによる「まとめ会」おいで下さい。

11月4日(火)10時30分～・18時30分～

事務局・アンケートの集計と観劇会運営の感想などを出し合います。

出演者・役柄紹介



岩瀬颯子さんからのメッセージ

「月紅の宿」、「オミソ」に続いて、今年も横浜演劇鑑賞協会の例会に上展させていただけることを心から嬉しく思います。

本作「月の海」は、親の介護という身近なテーマを通して、誰もが抱える“喪失”や“再生”を、時にユーモアを交えながら温かく描いた人間ドラマです。初演をご覧になった東映のプロデューサーから「ドラマの脚本を書いてください」とお声がけをいただき、この話を元にテレビ朝日『警視庁捜査一課9係』の脚本を執筆。その後、舞台を原案とした中編映画も制作し、また全国の劇団で度々上演されるなど、多くの方に愛され続けています。音楽は、前回の『オミソ』に続き、テレビ朝日の『Believe』や『緊急取調室』、NHK朝ドラ『あさが来た』などを手がけた人気作曲家・林ゆうきさんが、今回も担当して下さいました。ご覧くださる皆さまの心に、小さな希望や優しさの灯がともるようお願いを込めて、キャスト・スタッフ一同、心を込めてお届けします。どうぞお楽しみください。



横浜演劇鑑賞協会・年末年始のお知らせ！

●2026年用の「会費納入手帳」の発行は12月会費納入期間からの発行になります。

＊納入手帳の裏には「観劇担当作品」のお知らせもありますので、ご確認ください。

＊2026 年前半のカレンダーも発行いたします。

●2026年用の会員手帳は1月の会費納入期間に発行いたします。

＊この時は「ママごと」の座席シールもお渡しします。

1月の会費納入期間は1月6日（火）から11日（土）です。

この間に参加できない方は、お早めに事務局へ手続きにお出下さい。

●2026年の観劇会のスケジュールが進展中です。

4月「舞台に立ちたい」

6月「一人舞台・未定鋭意検討中」

9月文化座公演「命（あはれ） どう宝」9月2日（水）13時開演・関内ホール大ホール

11月青年座公演「夫婦レコード」



ミュージカル「舞台に立ちたい」出演者と
ピアノ奏者の方々



文化座「命どう宝」
舞台写真



青年座「夫婦レコード」
舞台写真

相模原演劇鑑賞会様「鬼灯町鬼灯通り三丁目」観劇会ご招待ありがとうございました。
大変評判が良く、会員は大いに喜んでくれました。横浜でも呼びたいという声が続々と来ています。
さて、次回は女性3人のコント集団歴30年を数える「だるま食堂のライブ」です。

11月21日（金）開演18時30分です。

会場は相模原南市民ホール

今回も無料ご招待です！

希望者は事務局までお申し込みください。

045-227-5535



創立 50 年企画

この人を訪ねる 7 三輪智恵美さん

横浜市議員（2015年当選）という肩書の三輪智恵美さんははてがみ座の「地を渡る舟」から入会して会員歴10年。今までに印象に残った舞台は浅敷童子公演「海猫街」、こまつ座公演「母と暮せば」をあげてくれます。

小学校に8年勤めて30歳まで広島市で生活していました。広島の小学校では毎年8月6日の広島原爆の日に学校に登校して平和教育を受けました。現在も続いています。

両親は入市被爆者（投下後に市内に入る）で、三輪さんは被爆2世です。

そんな三輪さんに「其の女」の舞台の感想を聞いてみたいと思って、港南区に出かけました。

三輪＝「広島に居る時から原爆乙女の事。アメリカに手術に行ったことまでは知っていました。舞台ではアメリカに行くまでの葛藤、帰国してからの姿を想像力豊かに描いてくれていて、その痛み、苦労を一人芝居という手法で巧みに表現していて、心に焼き付く舞台でした」「母が広島を中心街で喫茶店を開業していました。子供の時に被爆してケロイドが残ったおじさん、顔にケロイドがある裁縫の先生など色々な方に出会いました。大変な戦後を生きてこられたのだろうなとも思います」

・「三輪さんは今年も原水爆禁止世界大会に参加されたそうですが、何回目になりますか？」

三輪＝「今まで広島が4回、長崎が2回と記憶しています」

・「今年の世界大会は参加してみてどのような感想を持ちましたか？」

三輪＝「今まで苦しくて話せず、90歳から評言活動をはじめられた99歳の方。88歳で今年初めて評された方など体験を語る事の苦しさ、重さが伝わってきました。日本で被爆して韓国に帰った朝鮮人の力は貧乏で苦しかったこと、差別と保障もなく、怒りに満ちた発言などが胸を打ちました。また外国からの参加者も16ヶ国、223名と広がってヨーロッパを初め世界で核兵器廃絶の機運が高まっているということを実感しました。」「夜に開かれた女性の集いでは当時女学生だった方が従軍紋を探しに被爆直後の市内に入った時に目にした広島は地獄だったという評言を聴きながら涙が溢れました」

・戦後生まれの私達は写真や映像、その他の記録で原爆の被害を探る事しかできません。被爆の実相を語ってくれる方々の声も減っていきます。「其の女」の舞台は想像力に委ねられた創作です。

求められるのは想像力です。

ノーベル平和賞を受賞したサーロー節子さんはその時の演説で話されました。

『13歳の少女だった時、突然私の肩にふれて、あきらめるな！瓦礫を押し続けろ！蹴り続けろ！あなたを助けてあげるから、あの隙間から光が見えるだろ！そこに向かってなるべく早く、這っていきなさい。広島の高城の中で私が聞いた言葉を繰り返したいと思います。そして、私は生き残りました』

市会開会中という忙しい時間を割いて取材に応じて下さった三輪さんと一緒にこのサーロー節子さんのメッセージを胸に納めました。ありがとうございました。





(テアトル・エコーによる初演)

日時：1月29日（木）13時開演

＊上演時間 1時間45分（休憩なし）

会場：関内ホール 大ホール

夜の部の観劇が相模原であります。
3月3日（火）18時30分。

＊横浜で見られない方はお申し込み
ください。

12月2日（火）10時30分～ 担当打合せ会議に恵田隆一・富田直美両氏が参加していただけます。
担当に当たっていない方も希望者は参加できます。お気軽にご参加ください。



恵田千穂子



安達忍



岡のりこ



関口アナン



小口ふみか



佐藤B作

次回観劇会
第332回観劇



ママ

<あらすじ>

都内の高級料理店。

拓実とはなの結納という名の食事会である。

若い二人には手の届きそうもない店だが、拓実の叔母である由紀子が強引に予約してしまったらしい。拓実の母、美佐枝は夫と死別し、貧しくも拓実を女手一つで育てた苦勞人、高級店の雰囲気には落ち着かない様子。反対にこなれた様子でいるはなの父、嘉郎、会社経営者で羽振りもいい。妻の幸は継母だが、愛情一杯はなを育ててくれた。

食事会が始まろうとした矢先、一人の女が現れる。それははなの生みの親あゆみ。店の従業員を巻き込んで、美佐枝と由紀子、あゆみと幸、4人の母親の思惑がぶつかる。

ママごと、それぞれの本心と本音…。

<作・演出 田村孝裕>



1976年4月8日生まれ

東京都出身日型

舞台芸術学院演劇部本科卒業

脚本・演出家

劇団 ONEORS公演すべての作品の脚本・演出を担当

横浜では2023年熊谷真実主演の「マミー」で氏の作品を上演しています。

本作は、2020年に上演予定だったが新型コロナウイルスの影響で2度にわたって延期されていた作品。ONEORSの田村孝裕さんが作・演出を手がけ、浮気、不倫、略奪愛などさまざまな“秘め事”のある4人の母親と、彼女たちを巡る人間模様を描く。

開幕に際し田村さんは「辛い出来事をどうしたらポジティブに変換できるか、それだけを考えて作りました。ぜひ劇場でご覧ください」とコメントした。

<出演者>



福田沙紀



須賀健太



恩田隆一



富田直美



山口森広

「其の女」

担当運営委員のまとめ

六月二四日の担当打合せ会議の会場の事務局は参加者が二五名を超えて机を外して椅子だけの満席盛況となりました。主演の渋谷はるかさんは鶴見区の小学校、県立神奈川総合高校の卒業で、現在も横浜市在住という事で『生粋の横浜っ子』です。

『地元の公演なのと一人芝居という事もあって緊張します』と、この舞台に立つ不安と覚悟を参加者にお話されました。

今年是被爆八〇年という事も重なって観劇会を迎えるにあたり作品にふれたお話にワクワク感が広がりました。

劇団関係者の方を招いての打合せ会は五月の「おしゃしゃのシャン」。

七月の「ガラスの動物園」。九月の「其の女」と繋がり、いずれも参加者には好評で、座席割り作業や当日本番の受付などの参加作業に良い形で繋がりました。今後もこのような交流企画に積極的に取り組んでいきたいと思います。「コロナ禍」が収束した事も開催のきっかけになりました。

た。

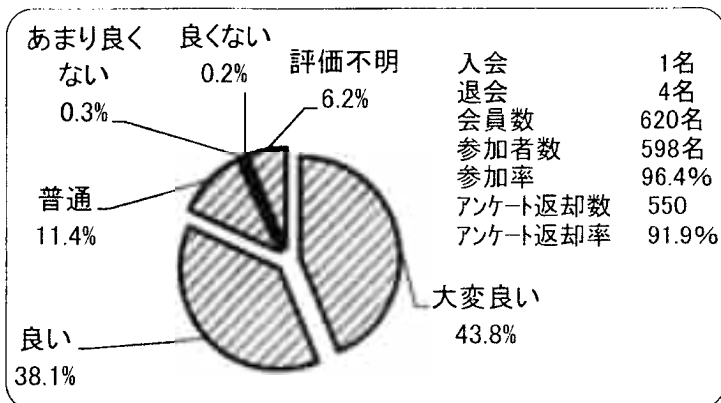
昼の公演終了後に開催した「客席交流会」では作者の古川健さん、演出の日澤雄介さんと主演の渋谷はるかさんに登壇して頂いて。短時間でしたが、五〇名ほどの参加者が「其の女」の舞台づくりの苦労話など聞くことができて「良かった」という声が多く聞かれました。特に最後に手をあげてお話をしてくれた渋谷さんの小学校の先生だった西浦章予さんの励ましの感想には会場から共感の拍手がおきました。

久し振りに使用した「県民共済みらいホール」は足の便が良く好評でした。使用料金が高額なので財政と相談しながら今後の可能性を追求したいものです。まとめ会では『原爆症の怖さ』『内容はつらいけど最後に光が見えて良かった』『こういう芝居を呼べて良かった』『揺れるカーテン、コップの水の工夫の演出がすごいと思った』『アンケートを読むと良かった』という感想が多く見られた。全体としても四、三一（五点満点）。と中味の濃い一人舞台でした。



左から演出の日澤雄介さん・主演の渋谷はるかさん・作者の古川健さん

「其の女」アンケート結果



評価	%
大変良い	43.8
良い	38.1
普通	11.4
あまり良くない	0.3
良くない	0.2
評価不明	6.2
	100

其の女

心に残った台詞・シーン

- ▼最後の「おかえり ひろし！」
- ▼「あなたの母親でよかった。お帰り、ひろし」
- ▼「日2日を見上げていた」光輝
- ▼「子供が健康で生まれた」
- ▼「ひろしが自分の人生を生きていると思うだけで幸せ」
- ▼綱渡り（り）するシーン
- ▼「あなたの存在は私の人生の喜びそのものです」
- ▼ひろしへの手紙
- ▼手紙のシーン
- ▼最後の言葉「おかえり」が心に残りました
- ▼交流会での小学校の先生のお話よかったです
- ▼子供ができた時のシーン
- ▼原爆を落としたアメリカに治療に行ったことで憎しが多量やわらうのかな
- ▼「原爆乙女と言われようと私は私の人生を生きています」

- ▼ホームで息子を返送るシーン。同じような経験をしたので、胸が締め付けられました
- ▼ヒロシ君を駅まで送ったシーン
- ▼日本人は必要以上に人の目を気にするというセリフ。その通りだと思います
- ▼日本人は見ただ目にはばかれるというセリフ。特に日本人だけではないだろうが、どうしていったらいいかわからない。仕方ないことなのか？日本人が弱い者に行ってきた事を知っている
- ▼言葉の間の曲き、照明
- ▼最後にヒロシ君が帰って来た時の渋谷さんの笑顔が良かったと思います
- ▼「喜び、悲しみ、苦しみ、すべて私の人生です」
- ▼「あなたにどう思われようと永遠にあなたの母です」
- ▼「ひろし、貴方の人生を生きていることでお母ちゃんに幸せ」
- ▼子供といろいろ葛藤があった時の悲しみ。子育ての難しさを感じます
- ▼「自分の人生を生きている」
- ▼「ピカドンが私の人生を狂わせた」
- ▼「あなたが速くにいても元気でいるだけで幸せです」



客席交流会・風景

- ▼国書にアメリカ行きを提案されるシーン。主人会の気弱さがよく伝わった
- ▼「原爆の飯は腹は膨れない」
- ▼「どんな風にも思われても、永遠に私はあの子の母親です」
- ▼「ヒロシは私たちの宝物」



横濱演劇鑑賞協会さま

張谷はるか

二〇二五年九月二十五・二十六日

次々回観劇会



♪ミュージカル「舞台に立ちたい」

出演／長谷川ゆうり・田宮華苗・五十嵐志保美・ピアノ／久田菜美

脚本・作詞・演出・振付 / ハマナカトオル

作曲・編曲／山口瑛也

ミュージカル女優3人の、10年間にわたる友情と人生の変遷を、笑いと涙で描いたオフ・ブロードウェイ・タッチのミュージカル・コメディ。

3人のミュージカル女優が1時間50分、ノンストップで歌い踊り、コメディアンを演じる舞台です。

観劇日/4月予定 会場/関内ホール小ホール予定



五十嵐志保美



長谷川ゆうり



田宮華苗



ピアノ・久田菜美

「舞台に立ちたい」担当サークル一覧

神奈川

2	エーデルワイス
4	寒椿

港北

34	根っ子
51	でこぼこ

市外

12	チョコ
29	野村

西

8	喜楽
77	小葉

港南

22	たんぽぽ
47	コマンタレブー

保土ヶ谷

57	和田
77	波

旭

39	モモ
----	----

緑

3	グループ若葉
---	--------

磯子

75	すばる
----	-----

金沢

48	ミーミャオ
----	-------

鶴見

16	カサブランカ
----	--------

栄

17	石橋
----	----

旭

39	モモ
----	----

中

25	YUKI
38	CITY
40	プリムラ

戸塚

7	田辺
9	虹3
33	虹

南

4	アシナ
16	Kアクターズ
37	たいざんぼく

担当スケジュール

<担当サークル打合せ> 2月6日(金) 10時30分～・18時30分～

<座席割振り作業> 2月18日(水) 10時30分～

*以降の作業日程は観劇日が決まり次第お知らせいたします。

「ママごと」担当サークル一覧

旭

8	OLIVE
13	KATAKUCH

磯子

8	倉倉
47	エパーグリーン

港北

5	ゆり
14	加藤

栄

29	うりんぼ
----	------

緑

7	竹山
---	----

中

3	のむりん
---	------

瀬谷

30	ふきのとう
----	-------

保土ヶ谷

1	風車
13	大江

金沢

61	ミッシェル
63	Gとみおか

港南

12	カトレアB
----	-------

南

1	カズカズの会
40	フリージャ
42	ドラキチ

西

3	大谷
20	ももんがあ
25	藤崎
58	フェニーチェ

戸塚

12	スクエア
21	四季
85	小林

担当サークルスケジュール

＜担当サークル打合せ＞

＜座席割作業＞

＜前日作業＞

＜まとめ会＞

*スケジュールをカレンダーに記入してください。

12月2日(火) 10時30分～

12月17日(水) 10時30分～

1月28日(水) 10時30分～

2月3日(火) 10時30分～

手芸部の活動



ハロウィンの布で作ったコーヒークップのコースターです。キャンディーを入れて差し上げたいと思います。

次回手芸部は
12月9日(火)

2025年11月～2026年1月スケジュール

11月		
4日	火	「月の海」まとめ会10時30分～・18時30分
15日	土	運営委員会
12月		
2日	火	12月会費受付・会費納入手帳発行・「ママごと」担当打合せ会議10時30分～
3日	水	12月会費受付・会費納入手帳発行
5日	金	12月会費受付・会費納入手帳発行
6日	土	12月会費受付・会費納入手帳発行
17日	水	「ママごと」座席割振り作業10時30分～
20日	土	運営委員会
27日	土	事務局冬季休局
2026 1月		
6日	火	1月会費受付・「ママごと」座席シール渡し・会員手帳発行
7日	水	1月会費受付・「ママごと」座席シール渡し・会員手帳発行
9日	金	1月会費受付・「ママごと」座席シール渡し・会員手帳発行
10日	土	1月会費受付・「ママごと」座席シール渡し・会員手帳発行
17日	土	運営委員会
28日	水	「ママごと」搬入・9時～/前日作業
29日	木	「ママごと」・開演13時～



編集後記

■九月に「其の女」の観劇会があり一〇月には「月の海」の観劇会と続き、「暮あひ」作成に与えられた時間は短い。その作業に追われて濃い時間を過ごした。気候の変わりも重なって「秋の疲勞」を味わった。そして来年のスケジュール表を一〇〇円で購入。サッカー日本代表がブラジルを破るという画期的な勝利がこの夜を飾ってくれた。

■雲雨の秋！この秋は何本の舞台に出会えるのか楽しみです。ち

■いきなり涼しくなってしまう冬ももう遠くない今年。井田

■一〇月、今年四回目の大阪文楽劇場へ行ってきました。「曾根崎心中」に「心中天網島」と近松の世話物二本続けて観て、夜は「恵女別荘分手編」と「日高入川相花王」三部ともすばらしい舞台でしたが、客席が午前中だけ大入りで、夜はもうガラガラ、淋しい限りでした。万博開催記念での興秋特別公演でロングランだったのに、万博は結局行かれなかったけど・・・と

■いつまでも続くこの暑さと思っていました。秋は芝居の季節！大いに楽しみたい。秋は芝居の季節！大いに楽しみたい。秋は芝居の季節！大いに楽しみたい。

■先日、知人の手作りの栗の渋皮煮をいただきました。すぐほお

ばって秋が来たなあと思感。木耳

発行日 2025年10月29日（水） 横浜演劇鑑賞協会

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-75 関内北原不動産ビル503

TEL 045-227-5535 FAX 045-227-5609 メール yokoentimu@keh.biglobe.ne.jp